

エクステリアビュー 夏号

# EX.VIEW

EXTERIOR  
VIEW  
2006・Vol.29

## INDEX

2006年 夏号・Vol.29

1-4  
「空の下に 自在空間」  
ミューテリアを語る

5-10  
事例ノート

11-14  
古橋宜昌の  
EXプランニング実践塾

15-18  
第23回 エクステリア施工コンテスト  
入賞店発表

19-21  
スーパー御庭番の達人たち

22  
御庭会通信



「空の下に 自在空間」というキャッチフレーズのもと、新しく誕生した『ミューテリア』は、先進性のある創造的な新空間を提案いたします。専門家達に様々な角度からその意義を語っていただきます。

# 中庭 — 住まいの内と外

白幡 洋三郎

## 中世ヨーロッパの住まいは壁が厚く窓が小さく「真っ暗」だった

ヨーロッパの住宅は明るい外光とともに暮らすイメージが強い。バルコニー、テラス、サンデッキなどという言葉が思い浮かぶように、屋外を日々の暮らしにうまく取り込んだ装置が発達していると思われる。舗道に突き出したカフェで新聞を読みながらコーヒーを楽しんでいる人々の姿もまたヨーロッパのイメージの中にある。

けれどもこのようなさわやかな戸外での暮らしがヨーロッパの都市生活に入ってきたのはせいぜい100年ほど前からのことだ。第1次大戦が終結した1910年代の末以降、戸外での生活が多くの人々にとっての理想になりはじめたのだ。

もともとヨーロッパの暮らしは厚い壁で囲まれた住宅の中が基本だった。中世ヨーロッパの住宅内部は、現代人の感覚で言えば「真っ暗」で、人々は暗闇の中でうごめいていた、といわれる。

ヨーロッパの住宅構造は日本のような木の柱や梁（はり）に

よる軸組構造とは違い、組積造（そせきぞう）が基本だった。組積造とは石やレンガなどのブロックを積み上げて壁をつくり内部空間を創出するもの。したがって軸組構造なら壁がなくても自立できるが、組積造の場合荷重をささえるのは壁であり、壁は荷重に耐えられるだけ厚さが求められた。組積造の住宅は必然的にとても厚い壁を持つことになる。

レンガや石で分厚く築かれた住居の出入り口は狭く、窓は小さかった。壁が厚く窓が狭いと屋内に差し込む光の量は極端に少なくなる。その時代は照明もきわめて貧弱である。そこでヨーロッパの家族は暗闇の中でお互いの顔をおぼろげにたしかめ合いながら暮らしていたといわれるのである。

## 光の魔術師フェルメールから印象派モネ、ゴッホへ絵画にみる陽光への強い憧れ

「光の魔術師」と呼ばれるオランダの画家フェルメールの絵をみると、室内に差し込む光がじつに印象的に描かれている。彼の絵に現れる室内は、17世紀になり中世的な暗い住宅から抜け出したオランダの市民生活の室内である。それでも画面をよく見ると、陽光に輝く室内というわけではなく、精一



サン・ジョバンニ・イン・ラテラーノ大聖堂のキオストロ(中庭)

サンタ・マリア・ソプラ・ミネルヴァ教会のキオストロ(中庭)、ガリレオが「それでも地球は回っている」とつぶやいたというガリレオ裁判の舞台

杯確保された小さな窓から弱々しい日の光が差し込んでいるといった程度である。

それから2世紀、19世紀になるとモネやゴッホ、シスレーなど印象派の絵画がそれぞれ太陽がいっぱいの室外を描きはじめることになる。こうした陽光への強い願望が住宅そのものに向けられ、今日の明るいヨーロッパの住宅が出現しはじめるのである。

ただし、室内の暗闇で過ごしていたヨーロッパの中世人たちも、一歩外に出ると輝く陽光が手に入ることはもちろん百も承知だった。彼らがつくりだした屋内であり屋外である場所、住まいの内であり外である空間……それが「中庭」である。

## 修道院中庭「キオストロ」は陽光と緑が輝く、外であり内である空間

ヨーロッパのキリスト教の教会、とくに修道院を旅すると美しい珠玉のような中庭に出会えることがある。ゲルマン語系では「クロスター」、ラテン語系では「キオストロ」などと呼ばれる、回廊付きの中庭が教会・修道院に多く備わっている。ただしプロテスタントの教会が多い北ヨーロッパにはきわめて少なく、南ヨーロッパの

カトリックの修道院ではよく目にする事ができる。

私はイタリアでたくさんの修道院中庭「キオストロ」に出会った。シチリア島モンレアーレの大修道院では、ローソクが揺らめく薄暗い礼拝堂を出て、南イタリアの明るいというよりは強烈な陽光に輝く緑の中庭に驚かされた。堂内は空間が暗いだけでなく、宗教的な雰囲気の高さも加わって、息苦しさを感ずる。ところが中庭、キオストロに一歩出るとどうだ。回廊に囲まれた四辺形の緑の芝生には、そよ風に乘ってくる若葉の香りがする。

ここはしかし屋外とはいえない。周囲は建物に囲われ、繊細な彫刻が施された列柱が並び回廊が取り巻く。外であり内であるのがキオストロだ。

ミラノの南に位置するバヴィアの町の修道院にも心を揺すぶられる中庭がある。ここにあるのは大小の少し性格の違うキオストロ。小さい方の回廊、キオストロ・ピッコロは33メートル四方の花咲き乱れる中庭である。回廊の周囲には食堂、図書室などが並んでいる。修道士たちの共用空間であるが、いかにも思索で沈み込んだ気分を励まし元気づけるような生氣あふれる空間である。



しらはた ようぎぶろう  
白幡 洋三郎

昭和 47年 3月 京都大学農学部林学科卒  
昭和 55年 3月 京都大学大学院農学研究科博士課程単位修得  
昭和 55年 4月 京都大学農学部助手  
平成 2年 3月 京都大学農学博士  
平成 8年 4月 国際日本文化研究センター教授

環境省中央環境審議会臨時委員  
(社) 公共建築協会 公共建築賞審査委員会委員  
国土交通省都市・地域整備局社会資本整備審議会委員  
大学評価・学位授与機構国立大学教育研究評価委員会委員

著書

2000・『庭園の美、造園の心』NHKライブラリー  
1997・『大名庭園—江戸の饗宴』講談社  
1996・『旅行ノススメ—昭和が生んだ庶民の新文化』中央公論社  
1995・『近代都市公園史の研究—欧化の系譜』思文閣出版  
1994・『プラントハンター—ヨーロッパの植物熱と日本』講談社 他 著書多数

造園学・産業技術史を専門分野とし、  
特に屋外レクリエーションの比較文化的研究を行う。



大きい方の回廊、キオストロ・グランデは刈り込みの芝生だけのたいへんシンプルな中庭だ。しかも一辺が百メートルを超す大平面である。周囲には修道士が居住する僧坊が並んでいる。各自の僧坊を出てこの中庭にたたずむとしても、それは日々の思索の延長ではなかったか。小回廊と大回廊は二つの憩いの場としてそれぞれに修道士の暮らしの内と外をつくりあげてきたものである。

古代～近世まで内と外の区別がなかった日本家屋  
その知恵の系譜を生かした住まい方を

中世僧院の中庭を除いて、気持ちのよい戸外空間を室内とうまくつなぐことができなかつたヨーロッパに比べて、日本はほとんど屋外と屋内の境界がない生活が普通のものだった。軸組構造の家屋だと、開口部がたくさんとれる。柱や梁以外のところにはみな窓にできるのである。古代・中世・近世を通じて日本家屋は風通しのよい、内外の区別がほとんどない住まいをつくりあげていた。しかし西洋文明に出会うことによって近代化に目覚め、ヨーロッパを模範としはじめたころから、家屋の内向化がはじまった。

外部から遮断された安全で静かな室内。外向きには防御が

整い、自分だけ家族だけの空間を確保できたかに見えた近代の日本家屋。しかし、そんな内向性住居は、季節の移ろいを受け取る感性や地域との交わりを希薄にさせ、あたかも西洋中世への逆行、内に閉じこもる薄暗い家屋への逆戻りを感じさせるものでもあった。

薄暗く息苦しい住まいに対して、わずかながらも外部空間を提供していた西洋中世の中庭。それらがもっていた機能の重みを振り返ってみるのも有意義なことではないか。さらに近代化、すなわち西洋化が万能であったこの百年あまりの生活に、かつての日本がつくりあげていた住まいと暮らしの知恵を再び取り入れることが必要だろう。屋内と屋外の境界が希薄で、生活空間に外部環境を見事に採り入れていた日本の知恵の系譜を生かさぬ手はない。



モンレアーレ修道院のキオストロ(中庭)、シチリア

シンプルで端正、新和風のエクステリア

### K様邸

住まいに合わせてシンプルな外観に、というのがお客様の要望。そこで、モノトーンの建物に合わせて、黒を大胆に使ったエクステリアを提案しました。直線的なデザインで和の雰囲気をもたせ、落ち着きと知性を感じさせるしつらいに。ただのシンプルモダンでなく、新和風の提案がユニークで、デザイン性にこだわるお客様も非常に満足されているとのこと。



【エクステリア全景】  
左側にシャッター付きの駐車場、右側に門まわりを設置したプラン。玄関まわりの黒い部分に合わせ、黒で統一したため、きりりと引き締まった雰囲気のエクステリアに。



【門まわり】  
玄関の正面に塀を立てて、道路からの視線をさりげなく目隠し。直線のラインを生かしたため、色の分量や高さのバランスも絶妙です。



【中庭のテラス】  
建物のくぼみ部分に設けたタイル張りのテラス。一部にスリットを入れ、玉砂利を敷いたことで、軽快なイメージに。黒竹は根が他に張らないように、植木鉢ごと埋めてあります。



【和のディテールで遊び心】  
塀の足元には、白黒の玉砂利を敷き詰め、ギボウシやタマリユウなどを植えて和の雰囲気を演出。止水栓のマスをよけるために設けた塀下のくぼみも、しゃれたアクセントに。

## ハイテクを駆使して、 お客様にスピーディで説得力のあるプランを

店内では、50インチの大画面でプラン&施工実例を見ることができます。また相談テーブルのパソコン画面にお客様宅のパスを映し出し、その場で希望を確認したり、プランを変更しながら話し合いが進められます。「相見積もりのお客様も多いので、「修正プランは後日提出します」なんて悠長なことを言っていたら、他社に行かれてしまいますから」(浦崎様)。

事務所では、スタッフが1人につき2台のディスプレイを並べて使用。2台を連動させることで作業スピードがアップ。プランニングや見積もりなどの作業がより早くスムーズにこなせます。



事務所の風景。全員が1人2台のディスプレイを使って作業しています。



2台のディスプレイを連動させて図面を描いているところ。1台で行うよりも、はるかにスピーディかつスムーズに作業できます。



お客様との相談は、パソコンでその場で図面の修正をしながら行います。「最初は奥様についてきただけのご主人が、パソコンいじりながらだんだん夢中になる……そんなケースがよくありますね」(浦崎様)。夜10時を過ぎても熱い話し合いが続く日も。



50インチ大画面。相談中のお客様が来店すると、そのお客様宅のプランを映し出して出迎える、というキメ細い演出も。

### 事例ノート

静岡県浜松市  
サンメイト株式会社 様

## 17年前からショールーム+広告などで集客をはかり 現在ではコンスタントに1日1~2組が来店

17年前に、それまで勤めていた住宅会社から独立し、これからはエクステリアの時代だと思って当社を設立。当初から280坪のショールーム(展示場)をつくって、エンドユーザーのお客様を呼び込む方法をとってきました。エクステリアにも、「住宅展示場」のようなものが絶対に必要だと考えていましたので。そのころのショールームは、まだそれほど内容も充実していませんでしたが、新聞折り込みチラシや地方局TV・ラジオなどで宣伝すると、すぐに反応があり、お客様がたくさん来店してくれました。そうやって、折々に宣伝しては集客するという方法で、次第に「あそこにお店がある」と認知していただくようになりました。現在、お客様の来店は、コンスタントに平均1日1~2組はあります。最近では、チラシのかわりに「中日ショッパー」というタウン紙に月1度、記事広告を出しています。また、「タウンページ」にも1/4広告を出しているんですが、それらをご覧になって電話をいただいたり来店される方が多いですね。

## 10~20年後を見越した提案を

店長・松田英雄様

当社は来店されるお客様が多いので、お店でお話を聞きプランを提案するのが私の仕事です。相談・設計・さらに施工の現場管理まで一貫して担当しますので、お客様も安心感を持ってくださいます。モットーは「10年後20年後を見越して提案する」こと。今は園芸がお好きでも、高齢になったときの事を考えて草取りのいらない工夫をすることで、バリアフリーにするとか。そして、シンプルで長く使えるデザインを心がけています。最近では、以前のお客様からの紹介やリピーターも増えてきましたね。



## 広告に「主婦の生活感」を盛り込む

広報・佐野朋子様

社長が前の会社を急に「辞める」と言ったときは驚きましたね(笑)。新会社を設立して、妻の私も手伝うことになり、四十にして車の免許を取りました。事務全般のほかにも広報を担当していますが、主婦ならではの生活感を大切にしています。エクステリアは生活の場でもありますから。



代表取締役社長  
佐野宏行様

そんなわけで当社は、創業時から現在まで、ハウスメーカーなどからの紹介はほとんどなく、ほぼ100%お店に来てくださったエンドユーザーのお客様と直に仕事をしています。スタッフは、営業兼設計が私を含めて3名、広報など事務担当が1名。実績は月に20件前後です。デザインの傾向はとくになく、お客様のご要望や個性に合わせて、どんなデザインやスタイルでも対応できるようにしています。最近では若いお客様も増え、高いセンスが求められますので、常に勉強が必要。商品についても、メーカーさんの新しいカタログをしっかりとチェックするようにしています。アフターサービスは、木を植えたお宅に、枯らさないようにアドバイスに行くなど、時々顔を出すよう心がけていますが、なかなか回りきれなくて。でも、盆暮れの葉書やカレンダー配りは欠かしません。



「タウンページ」の広告と、地元のタウン紙「中日ショッパー」の記事広告。「ニュー晴れもよう」の紹介に「花粉の季節の対策に」「急な雨にも」といった、主婦の生活感を生かしたコピーが読者の興味を誘います。

オープンでも視線を遮る工夫を

### S様邸

「前の道が狭いので、前庭にUターンのできる広めの駐車場を」「オープンにしてもプライバシーは守りたい」といったお客様の要望に応え、広い駐車場を確保。また、門柱や植栽などでさりげなく道路からの視線を遮る工夫をしました。床のタイルや塀のレンガ使いが、住まいの雰囲気美しく調和しています。



【芝生の中庭】  
テラスには、「ナチュラル」テラスと「ひとと木」を採用。グリーンが芝生とも調和しています。



【エクステリア全景】  
前庭を駐車場にしたオープンなエクステリア。門柱と塀の位置と高さを工夫して玄関をさりげなく隠し、芝生の中庭は手前に木を立てて目隠ししています。前庭の床タイルは、一部だけ色を微妙に変えて、駐車スペースとアプローチを区別しています。



【U.スクリーンで目隠し】  
隣家との境には、「U.スクリーン」を採用。とくに隣家の窓がある場所には、全面目隠しパーツを設置してプライバシーを確保。



【玄関アプローチ】  
正面からでなく、右ナメから入るようにしてあります。エンジ色の床はゴムチップを敷き詰めしたもの。踏み心地が柔らかく、すべりにくいと好評です。ハッキリした色使いが、玄関まわりを引き締めています。

塀の曲線が印象的。一角に和の庭も

### H様邸

以前から住んでおられた敷地に全面建て替え。お客様は、住宅に調和するオープンなエクステリアをご要望。「最初は和風の庭はつづす予定でしたが、お父様が丹精込めた庭なので、残すことを提案しました」（佐野様）ということで、和洋折衷の庭づくりをしました。高低をつけた曲線的な塀で囲み、洋の庭はオープンに、和の庭はクローズにして、バランスのいいエクステリアを完成させました。



【跳ね上げ門扉とカーポート】  
裏手には車が2台駐められるカーポートが、跳ね上げ門扉とフェンスを採用。



【エクステリア全景】  
重厚なレンガタイル貼りの住まいに、明るいベージュの塀が美しく調和。塀の曲線がリズムをつくり、軽快な雰囲気プラスしています。向かって右側が洋の庭、左側が和の庭。左側の塀を高めにして和の庭を目隠しし、外観の雰囲気を統一させています。



【玄関から門の方を見る】  
アプローチの曲線と、ところどころの石貼りに遊び心が感じられます。

【洋の庭】  
円形に敷き詰められた床タイルがアクセントに。砂利の部分は下に防草シートを敷き込んであるので、面倒な雑草との心配がありません。



【和の庭】  
和室の前にはお父様が作った和風庭園を残したため、住まい全体が落ち着いた雰囲気。



【門から玄関へ】  
アプローチが曲がりくねっているため、実際よりも広く見えます。



【床にアクセント】  
コンクリートの床もひと工夫。天然石やレンガチップでアクセントを。



【外の花壇】  
塀に沿って設けられた花壇。ハーブを植えてロックガーデン風に。

## 提案型の「ショールーム」でお客様のイメージづくりのお手伝い

280坪という広い敷地に展開された「ショールーム」（展示場）は、素材や商材だけを展示するのではなく、門扉とアプローチの組み合わせや、外での団欒の場など、実際の生活に即した提案型の展示がもりだくさん。植木やグリーンもふんだんに入れて、具体的にイメージしやすく仕上げてあります。訪れたお客様からも「広くて、いろいろなパターンが見られて参考になる」「植木もステキ、こんなふうになりたいと夢がふくらむ」などと大好評です。



芝生、レンガ道、枕木の飛び石など、床材の使い分けも参考になります。



店内へのアプローチは、重厚なレンガの門柱やさまざまな庭木で美しく演出。

子どもの遊び場も用意してあるので、ファミリーで来店しても大丈夫。



アーチやトレリスなどを所要所に配置。雰囲気のある庭づくりの参考に。



落ち着いたたたずまいの和風庭園。

# 古橋宜昌の EX プランニング実践塾 第1回



今回から新たにスタートする EX プランニング実践塾は、前回のプランニング講座で解説させていただいた、部位ごとの基本的な考えかたを踏まえて、さらに実邸を想定したより実践的なプランの考え方や、デザインのポイントなどを解説していきたいと思います。

基本的な進め方としては毎回、課題として敷地条件や施主のご要望などを発表いたします。皆さんは、次回の号が届く前に自分なりに与えられた条件に合わせてプランを考え、技量に合わせて図面なりスケッチ等をつくっておいてください。本来は建物のテイストが分からないと仕上げ等の仕様が決められないと思いますが、地域性もあると思いますので建物のデザインは各自で設定してからプランニングに入ってください。

そして次回、紙面において模範プランを公開しますので、自分が考えたプランと比較検証してみてください。もちろん正解というものはありませんので、模範プランを見て自分にないアイデアがあれば参考にさせていただきたいと思ひますし、同じような考え方であればさらに自信をつけていただければよいと思ひます。

また、設計初心者の方もいらっしゃると思ひますので、課題を考える際、私ならどんな手順で考え、どんなところに注意をするのかというポイントも、課題発表と同時に事前解説させていただきますのでプランづくりの参考にしてみてください。

今回のシリーズの一番重要なポイントは事前に自分でプランを考えることです。日常の業務も忙しいと思ひますが、できる範囲で結構ですから、頑張ってプランを考えてみてください。毎回、ただ模範解答を見るだけとは比べものにならないくらい、プランニングの力がついてくると思ひます。

## Furuhashi Norimasa



古橋 宜昌  
ふるはし のりまさ

生年月日：1958年4月6日  
東京電機大学理工学部建設工学科卒。  
有限会社エクスプランニング代表取締役・エクステリア&ガーデンアカデミー東京校校長  
一級建築士・一級造園施工管理技士・一級土木施工管理技士。  
JAG日本ガーデンデザイナーズ協会会員・英国王立園芸協会会員・同推奨品認定委員  
大手ハウスメーカーのエクステリア部門を経て、1997年、日本では珍しいエクステリアとガーデンの設計業務を請け負う会社「エクスプランニング」を設立。  
個人住宅のエクステリア&ガーデン設計は年間500棟を越え、その設計事例は多くのガーデニング専門誌等で紹介されている。  
ホテルオークラで開催されたガーデニングショーでは「イギリス大使夫人の庭」のデザインと施工を担当。設計業務の傍ら専門学校や英国王立園芸協会などのセミナーの講師、デザインコンテストや「TVチャンピオンガーデニング王選手権」の審査員なども務める。

ホームページアドレス <http://explanning.m78.com>



次号から公開する模範プランは下記のを予定しています。

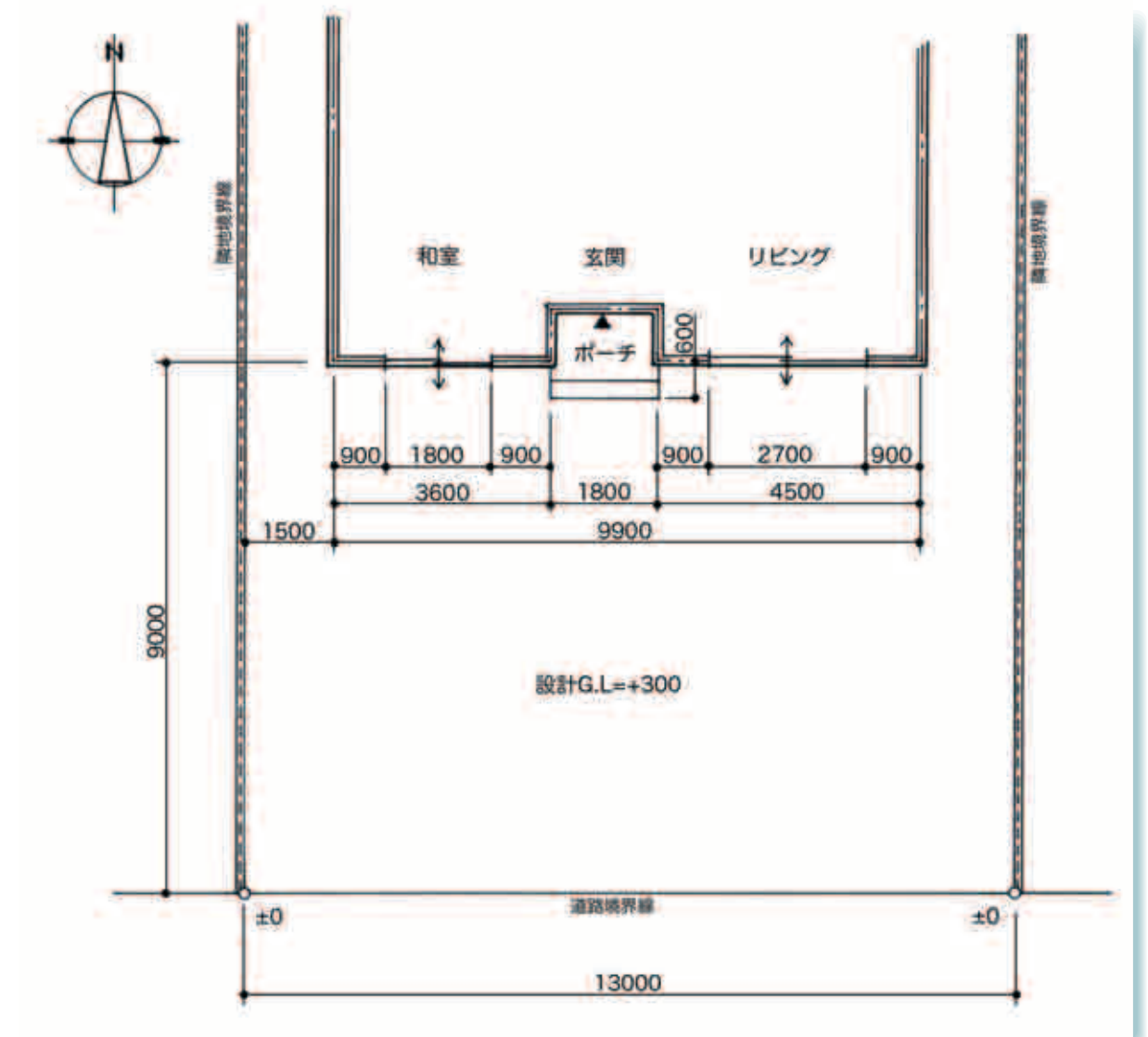
- [ゾーニング図]
- [平面図]
- [立面図]
- [イメージパース]

皆さんにはできるだけ同じ図面をつくって、比較していただければと思ひますが、できる範囲で結構ですから途中でやめなくて最後までしっかりついてきてください。

## 第1回目の課題について

### 1. 敷地条件

敷地条件は下記の通りです。



### 2. 施主の要望

- ・外構スタイルとしてはクローズドスタイルを希望。
- ・車1台分の駐車スペースと屋根（カーポート）が必要。
- ・リビング前にはウッドデッキと4歳の子供の為の砂場が欲しい。
- ・その他はお任せしますので良いプランをお願いします。

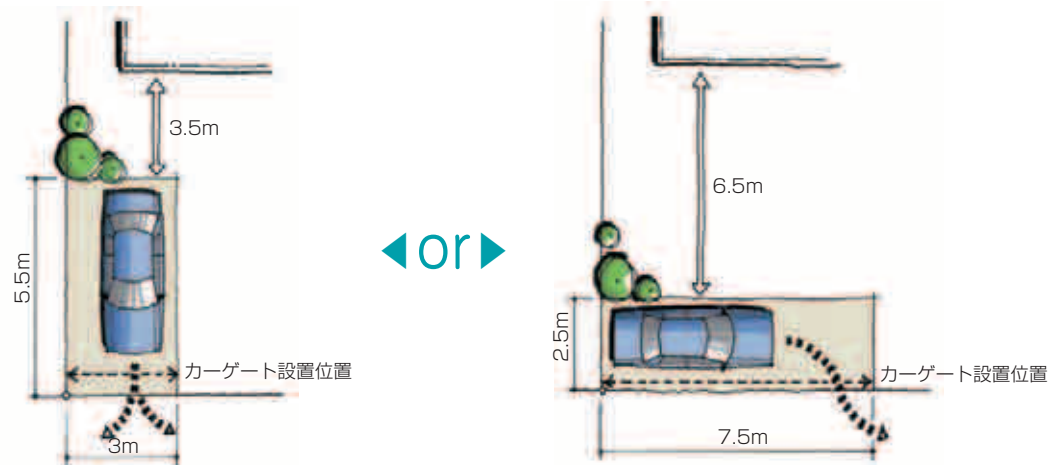
## 「私ならこう考える！ゾーニング手順と計画時のポイント」

ここではプランニングをする時に私が頭の中で考えることを言葉にしてみます。プランニングの際の参考にしてみてください。

### 1. 駐車パターンの検討

#### ・直角駐車とするか平行駐車とするか

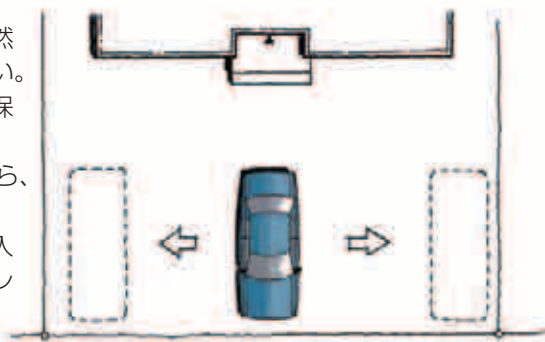
一般的に駐車場を考える場合、道路に対して直角に配置するパターンが一般的。その奥のスペース（建物の外壁から駐車場までの間）が極端に狭い場合は平行駐車とするが、今回のケースであればその必要もなさそう。さらにクローズドスタイルを要望されているので、直角駐車の方がカーゲートの納まりもよさそう。



### 2. 駐車スペースの位置

#### ・駐車場を敷地のどこに配置するか

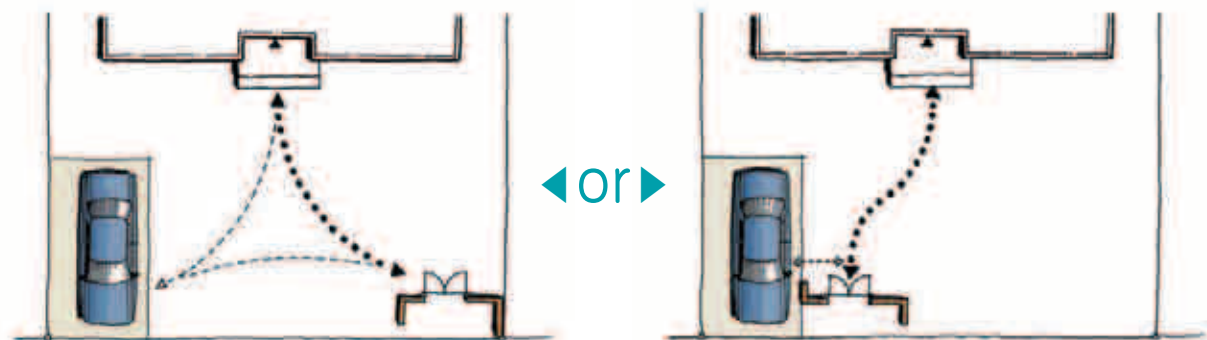
基本的には敷地の中央におくと、庭の提案が不自然になるので、左右の隣地境界側へ寄せて配置したい。まだ若いご夫婦なのでリビング前は主庭として確保したいので、西側（和室側）に寄せてみました。駐車場奥から建物まで2.5m程度は確保できるから、和室の前庭（坪庭）として、何か提案ができそう。カーポートを希望されているので、床に草目地を入れたいところだが、雨がかからない為化粧砂利かレンガ等でアクセントラインを入れてみよう。



### 3. 門まわりの位置

#### ・機能的で無駄のない門の位置は

出来るだけまとまった広さの主庭を残したいことと、駐車場からの動線も確保したいので門まわりは駐車スペースに隣接させて計画した方がよさそう。



### 4. 塀の位置

#### ・街並みを意識して考える

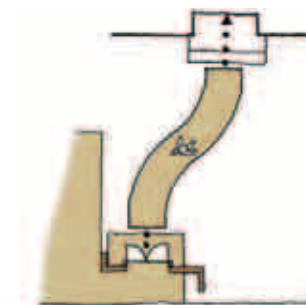
クローズドスタイルなので、道路面は駐車場と門まわり以外は塀としなくてはならないが、多少道路境界からセットバックさせ、グリーンベルトを確保して街並にも配慮したい。塀は上半分をフェンスとし、庭の植栽に対して日当たりと風通しを確保しよう。



### 5. アプローチのデザイン

#### ・不自然なラインにならないように注意する

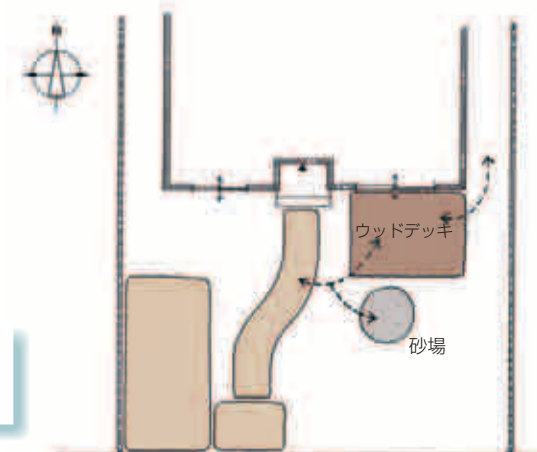
門の位置と玄関ポーチが多少ずれそうなので、クランク状にデザインしてみよう。直角でつくと動線的に不自然なので変形クランクがいいかも。道路と敷地に高低差が30cmあるので、階段はできるだけ門まわりで処理した方がよさそう。



### 6. 主庭のイメージ

#### ・アプローチ、砂場、デッキのつながりを考える

施主の希望であるウッドデッキの形状もひと工夫して提案したい。砂場も近い将来使わなくなった時のことを考えてアドバイスしておこう。



模範解答は次号で掲載、解説しますので、以上のことを踏まえて素敵なプランを考えてみてください。

「エクステリア&ガーデンデザイナーの知的財産を守るキャンペーン」を応援します!!  
図面やデザインを保護する  
キャンペーンマークをご活用ください。



専用ホームページよりロゴをダウンロードできます。  
<http://explanning.m78.com/Morals/>

今日、映像や音楽、書籍、ソフトや技術開発にいたるまで、あらゆる分野において、コピー防止や著作権等の確立による、知的財産を守るモラルアップが叫ばれています。エクステリア業界でも昨今、図面の横流しやデザインのコピー等が問題になっています。そこでこのたび、当講座の講師・古橋先生が「エクステリア&ガーデンデザイナーの知的財産を守るキャンペーン」を立ち上げられました。この運動は、悪質な施工会社やお客様に対して直接抗議するものではなく、あくまでも「私（弊社）は他社の図面を利用した悪質な営業行為はいたしません」という趣旨で展開されます。弊社もこのキャンペーン主旨に賛同し、積極的に応援いたします。「御庭番」の次回バージョンアップ時には、キャンペーンマークのダウンロードをご利用頂けるようになりますので、図面やパス等に貼ってご利用ください。エクステリア業界の地位向上とモラルアップのために、大いに活用ください。

# 2006 EXTERIOR DESIGN CONTEST

第23回 エクステリア施工コンテスト

## 全体講評 審査委員長 猪狩 達夫氏



猪狩 達夫氏 プロフィール

東京都世田谷区生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業、カナダトロント大学建築学部大学院終了(マスターオブアーツ取得) グリーンタウン高尾の基本設計をはじめ集合住宅地計画・街なみ設計等幅広く活躍中。「第2回人間サイズまちづくり賞」受賞。現在(株)イカリ設計代表。著書に「戸建て集合住宅による街づくり手法」等がある。

日本経済は今世紀初頭から続く長いトンネルにようやく出口が見え、いわゆる「踊り場からの脱出」の具体的数字が日々のニュース記事を賑わしはじめてきた。しかし一方で、中国建設ブームや世界的石油の価格アップ等で鉄・地金の急騰を呼び建材メーカー全体が厳しい局面を迎えている。一方消費者動向に目をむけると、日本人の「本モノ志向」の生活文化は、ますます上向きなのである。ここで私は、いよいよエクステリア業界は「量」より「質」の時代が到来したことを主張したい。そのようななか、今回の第23回エクステリア施工コンテスト審査会では全国から3,014点の作品が集まり、厳正な審査が行われ、優秀作品が選ばれた。今年の傾向は、「シンプルモダン」が昨年に引き続きさらに顕著になって来たことである。それは素材感あるシルバー色とラミネートウッドのウッディ感との取り合わせと断面をスリムとすること

によって周囲の「緑」を演出し、バックの住宅建物デザインに合わせる、そして街なみも「やさしく」するなど、Uスタイルの「万能空間形成」と共に、ユーザーの従来にない新感覚志向と合致してきたことが優秀作品群から見てとれる。又、門廻り、塀や庭のどこかに「アート」を求めている(門・門扉デザイン)一方で、未利用の空間の活用(ガレージ屋上庭園)など、“生活をもっと豊かに”と願う人々の表れはやはり生活の「質的向上」症候群の増大を感じざるを得ない。これは「ゴージャスな門構え」が影をひそめて来たことと反比例しているような気がしてならないのである。パブリック空間においても「温かさ」と「ぬくもり」を求めて自然感ある人工木が施工法など改良が加えられて普及されてきているのは喜ばしい。入選作品(48作品) いずれ劣らぬ秀作でした。来年もさらに素晴らしい作品を期待しています。

### 入賞店一覧(敬称略)

A 部門 新商品部門	B 部門 スペース提案部門	C 部門 リフォーム部門
金賞 グリーンテクノ積和(株) 東京センター	金賞 (有)明和産業	金賞 (株)ヤハタ
銀賞 (株)ジーワークス	銀賞 ムツミ建設(株)	銀賞 アベ建材(株)
銀賞 (有)ハマタケ	銀賞 (株)テムス	銀賞 (有)コブス
銅賞 川口建材(有)	銅賞 NATURE FLOW(ネイチャーフロー)	銅賞 富士工営(株)
銅賞 住友林業緑化(株) つくば営業所	銅賞 (株)創建	銅賞 鐘商(株)
銅賞 (有)さくらガーデン	銅賞 (株)タケウチ	銅賞 滝口建工(株)
敢闘賞 (有)京葉エクステリア	敢闘賞 (有)アイビー	敢闘賞 (株)プラス
敢闘賞 (株)富士屋 カーベーター加賀店	敢闘賞 (有)三晃アルミ	敢闘賞 ケーエスホーム(有)
D 部門 ガーデンエクステリア部門	E 部門 ウォールエクステリア部門	F 部門 パブリックエクステリア部門
金賞 西武緑化管理(株)	金賞 (株)アルコア	金賞 (株)北海製作所
銀賞 (株)グリーン京阪	銀賞 ダイトミ建築店	銀賞 萩浦工業(株)
銀賞 古賀緑地建設(株)	銀賞 住友林業緑化(株) 大阪東営業所	銀賞 名神テクノ
銅賞 (有)ベスク	銅賞 (株)エクステリア興和	銅賞 (株)平塚アルミ工業
銅賞 芦屋ガーデン工房	銅賞 (有)日建エクステリア工業	銅賞 セントラルコンサルタント(株)
銅賞 南部造園土木(有)	銅賞 (株)光ガラス	銅賞 (株)アマノ 岡山営業所
敢闘賞 セキスイエクステリア(株) ザシーズン世田谷	敢闘賞 (有)佐久間工務店	敢闘賞 伊勢屋金網工業(株)
敢闘賞 岩楯開発(株)	敢闘賞 (株)甲斐建設	敢闘賞 井上鋼材(株)

# 2006 EXTERIOR DESIGN CONTEST

A部門 新商品部門

## 金賞 グリーンテクノ積和(株) 東京センター 様

レンガタイル貼り門柱・ゲートと木質感ある門扉が街なみにやさしい。車庫前ゲートと門柱の間の木列柱が効果的だし、木目調カーテンゲート(エクレージ)も“やさしい街なみ”を助けている。とくに木列柱バックの緑が効いているようだ。



B部門 スペース提案部門

## 金賞 (有)明和産業 様

「Uスタイル」の多目的スペース活用例として秀作である。玄関アプローチ空間とリビングスペースをすっぽりと「Uスタイル」で覆っている。もちろんアプローチ空間付車庫スペースともなり、いわゆる、「ユニバーサル空間」の“現出”といえよう。





2006  
EXTERIOR  
DESIGN  
CONTEST

C部門 リフォーム部門

金賞 (株)ヤハタ様

リフォーム前の濃紺の門扉やグレイ系の門柱から、明るいレンガ積み門柱、擁壁となり、フロント樹木も映え、見違えるほどの変貌ぶりである。鋳物門扉「アルティーク」1型がレンガの感触と合致、バックの建物を引き立てる効果も生んでいる。



D部門 ガーデンエクステリア部門

金賞 西武緑化管理(株)様

ヤマボウシのシンボルツリーと周囲に低木植栽と、緑いっぱいの住宅フロント。そのポイント的扱いのウッディ門扉「ニューラミネート」3型が決まっている。舗床のレンガ敷と緑化目地も効いており、バランス良い作品である。



E部門 ウォールエクステリア部門

金賞 (株)アルコア様

半戸外空間と室内空間の相互貫入が一つの大型スペース「晴れもよう」の中で一体化した好例。ゴージャス感も兼ねた作品である。



F部門 パブリックエクステリア部門

金賞 (株)北海製作所様

公園の回遊路150mの手摺がすべて、人工木で製作された。とくに大きな手摺のカーブや、ボルト・ビスを表面に見せない工夫が見られオリジナル防護柵に苦心のあとが見受けられる。



# スーパー御庭番の達人たち… ⑤

ユーザー様のハイレベルな仕事ぶりをレポートするこのシリーズ、今回は、スーパー御庭番で描いた提案の成約率がなんと8割! という達人の遊び心あふれる数々のテクニックをご紹介します。

## 上達の秘訣は「お客様の前で操作する」こと プランニングコンテストも、技を磨くチャンス!

「スーパー御庭番の達人」 (有)貝野建成 貝野寿紀様

御庭番を導入したのは3年前でした。初心者にも非常にわかりやすく、最初の「2日間研修」で7割ぐらい覚ええました。(教えてくださる方の教え方が上手だったから、と書いておいてください。…笑)そして1カ月ぐらいで簡単なプランなら描けるようになりました。ただ、エクステリアそのものについてよく知らなかったので、半年ぐらいは現場の職人さんに「この絵じゃ工事できない」と叱られながら何度も描き直しました。おかげで、机上の空論でない実践的なプランが作れるようになりましたね。

上達の秘訣は、「お客様の前で操作する」こと。私は御庭番を重要な営業ツールだと考えているので、お客様と打ち合わせをするとき、パソコンを持っていくんです。そして、お客様の目の前でどんどんプランを展開する。「ここを直して」「この色を変えて」と言われれば、その場で修正してお見せする。そんなとき、目の前のお客様を待たせるわけにはいきませんから、必死で操作します。そうすることで、より早く的確に操作できるようになっていきます。

三協立山アルミさん主催の「プランニングコンテスト」も、いい刺激になっています。新しいことにチャレンジしようと、いろいろ工夫するため、難しいテクニックをマスターできるんです。この仕事に御庭番は必要不可欠。どこでもみんなCADを使っていますから、使っていないとスタートラインにも立てない。そのうえで、よそとはひと味違うプランを描いて、お客様との商談を成功させたいですね。



御庭番で描いたプランを検討、手直しの指示もします。



「御庭番でガンダムを描いてみたいですね」と笑う貝野寿紀様。

### 「これからは提案力」と御庭番を導入成約率8割! 休みなしの忙しさです

代表取締役・貝野征生様

もともと解体業が中心だったんですが、3年前にエクステリアを本格的に始めるにあたり、「なによりも提案力が必要」と考えて御庭番を導入しました。息子は最初、「絶対にやらないよ」なんて言っていたんですが、あっという間に使いこなしましたね。その後エクステリアの仕事が面白いように増え、御庭番を使って描いた提案の成約率も、どんどん上がっていて、現在は8割ぐらいです。現在は月に8~10件の物件を手がけ、ここ2年ぐらいほとんど休みを取っていないほどの忙しさです。

### 漠然としたイメージが 絵になる面白さ 達人に追いつけ、追い越せ!

「次期達人」清水ナオミ様

今年入社して、御庭番歴はまだ1カ月半。漠然とした自分のイメージが、ハッキリとした絵になる面白さに魅せられています。まだまだわからないことだらけですが、身近にいいお手本があるので、苦しみつつ楽しみながら、達人をめざして頑張ります!

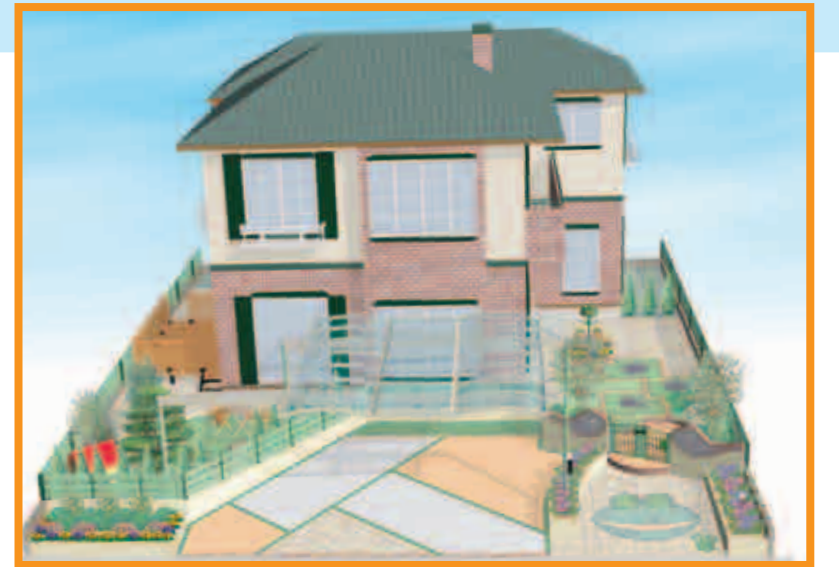


スタッフのみなさんのチームワークも最高。左上から山崎千鶴子様、清水ナオミ様、石野綾子様、貝野寿紀様、貝野征生様

## 達人のテクニック・その1

### 御庭番でトコトン遊んでしまう! プランニングコンテストの お題は「カエル」

コンテストは遊び心とチャレンジ精神が必要だと思っています。今回はテーマを「カエル」にして、さまざまなディテールをカエルにちなんだものにしました。たとえばアプローチの床に描かれたカエルの形は、「ナチュロア」の色と、輪郭は目地剤。オタマジャクシ門柱は、R堀に、逆のR堀をくっつけてつくりました。「U.スタイル」のカーポートも、屋根をカエルの形にしました。カエルのポストは、頭は築山を縮小して、あごは水鉢、目のまわりはR堀、目の球は円柱を横にしてカットしました。丸みをおびたフォルムは、少しずつ面を取っていきました。このポストづくりに2日かかり、あとは1日で全部描けました。



カエルづくりのプランニング。ユニークで楽しい提案になっています。既存にないものを、いろいろなパーツを工夫することで創り出してしまう力量はさすが!

### 貝野様が提出したコンセプト・シート

ここはマイルドグリーンとナチュラルと緑をたくさん使った田んぼの中だよ。大きなカエルさんが、みんながカエルのを待ってるよ。よし! おたまじゃくしの門柱と階段を抜けてみよう!! あれれ? おたまじゃくしに足が生えてきたぞ! あれ? 手もでてきたぞ! わぁ! カエルさんのポストになっちゃった。あー楽しかった。おや? よく見るとカーポートの屋根の形もカエルさんだぞ。

三協立山アルミ・本社担当者のコメント

- 全体 スーパー御庭番の機能を十分に熟知し、応用的に活用する事で、独自のプランを最大限に表現していると思います。特に、おたまじゃくし・カエルの複雑なR形状が見事です。
- ポスト スーパー御庭番の機能や素材を応用して使用し、アイデア溢れた楽しいオリジナルポストを描きあげています。



## 達人のテクニック・その2

### マウスとテンキーを両手で使いこなす とにかく操作が早い! 早い!

操作はパソコン入力だとかっかるので、右手にマウス、左手にテンキーをもって、両方を連動させて、どんどん操作していきます。こうすればその分早く描けるし、修正も早い。慣れると別に難しくありません。



両手をフル稼働させ図面を描く貝野さん。



## 達人のテクニック・その3

### 商談の決め手！ パソコン持参で、5種類の塀をお客様に次々と提案

お客様にプランを提案するときは、パソコン画面で見せます。このお客様は「どんな塀にしたらいいか」と迷っていたので、5通りのブロック塀を用意し、目の前で次々とお見せしました。そうしたら「ここまでうちのためにやってくれた」と喜んでくれて、塀もその場で決まりました。パソコン持参なら、お客様の希望もその場で追加・変更できますから、次の商談までお待たせすることもなく、他社に先んじることが出来ます。



### ブロック塀のバリエーション

こうしてプランに入れ込んであれば比較検討しやすい



【ウィッシュロック】



【コスモロック】



【外壁同タイル貼り】



【ブロックメーカータイル貼り】



【化粧ブロック+フェンス】

## 達人のテクニック・その4

### 御庭番ならぬ「御店番」？ 店舗のインテリアまで描いちゃいます

外観だけでなく、家の中まで御庭番で描くことがあります。たとえばこれは店舗のプランニングなんですが、テーブル・椅子・座布団・のれんなどといったパーツはすべて手づくり。階段などから部分的に取って、それを組み合わせさせてつくりました。



U様店舗改装イメージ図。

## 達人のテクニック・その5

### 複雑な屋根勾配だって、このとおり！

御庭番にも屋根は入っていますが、単純なものだけで、勾配の違う屋根が複雑に組み合わさっているものは描けません。そこで、勾配の違う屋根は、面をいくつかに分け、変形させて角度を合わせていきます。まあ、普通はこんな面倒なことをわざわざせず、「屋根は描かずにおこう」で終わりだと思いますが(笑)。

T様邸の外観。複雑な屋根の形状が見事に描かれています。



## 御庭会通信

### 東北御庭会 研修旅行 — 4月6日、7日

東北御庭会では新商品展示会（大阪会場）の視察を兼ねて京都市内の庭園見学研修旅行を行いました。庭園見学は参加いただいたメンバーの皆様には大変好評でそれぞれ楽しんでいただけたことと思います。新商品展示会においては新商品に対する期待の大きさがひしひしと伝わってきました。特に「ミューテリアシェード」に対する期待と反響が非常に高く、多くの要望や質問をいただきました。

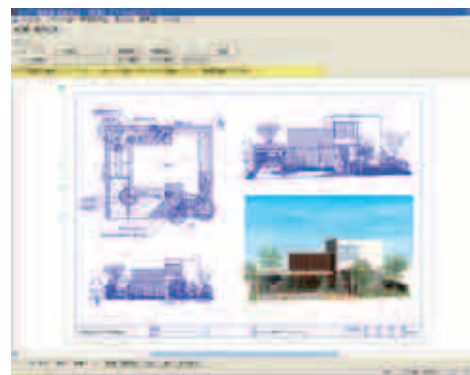


### 中国御庭会 総会 — 4月26日、27日

中国御庭会では総会及び大分県分譲地視察、問屋主催の展示会視察を兼ねた内容で行いました。総会は別府温泉のホテルサンバリアアネックスで行われ、つつがなく案件が承認されました。分譲地見学・展示会もそれぞれメンバー各自の目線で参考にされたことと思います。今回の企画は内容的にも盛りだくさんで参加いただいたメンバーの方々には大変好評でした。



## スーパー御庭番 VER8.0 リリース



スーパー御庭番VER8.0ではデータの出力が非常にわかりやすく、簡単になりました。図面の配置パターンを簡単に選択したり、出力画面での修正やページの追加なども簡単にできるようになりました。もちろん新商品のデータ追加や機能追加も盛りだくさんです。

## 御庭番スタッフ紹介

愛知県知立市  
株式会社ハウジングセンターミウラ様  
設計担当 奥平みゆき様



### 御庭番のきれいなカラーパースの提案でお客様の数が増えましたね

当社で御庭番を導入したのは8年前。私はちょうどその時、御庭番担当として入社しました。キャドは初めての経験でしたが、使ってみたら意外に簡単で、2~3カ月ですらすらと描けるようになりました。私の場合、もともと手描きで図面を描く仕事をしていたので、基本的な知識はあり、その分習得が早かったかもしれませんが、当社にある他社のキャドと比べても、やっぱり御庭番は初心者にもわかりやすく、操作しやすいと思います。また最近では、植栽なども充実してきましたし、他社の商品も多少入るようになり、さらに使いやすくなってきましたね。御庭番を導入する以前は、図面は手描きで、パースまでなかなか手が回らなかったんですが、御庭番のおかげできれいなカラーパースで提案できるようになり、お客様の数が増えましたね。やっぱりきちんとしたパースがあると、お客様に具体的に伝わるものがありますから、話が決まりやすいと思います。現在、図面は、月に新規で15~20件は描いています。これに修正分も入れると、毎日ほとんどフル作業です。休日の過ごし方ですか？ ツーリングが趣味なんです。600ccのバイクに乗って。たいていは近くの山に行くことが多いんですが、GWには3泊で福島まで行きました。バイクで走っていると、気分がリフレッシュできますね。



## ミューテリア M.シェード

2006年 今秋発売予定!

10mのワイドスペースで開放感のある新型シェード。前庭であり、玄関アプローチであり、家族が集う団欒の場であり、駐車場でもある多目的なスペースを演出。



EXTERIOR VIEW 2006  
Vol.29

 三協立山アルミ株式会社

---

〒933-8610 富山県高岡市早川70  
エクステリア建材事業本部 情報誌編集室 TEL.0766-20-2261 FAX.0766-20-2071  
<http://www.exteriorworld.jp/>